

IV 研究活動

1 研究活動の概要

1) 研究業績数一覧

	単著	共著	計
著 書	0	2	2
学術論文	3	2	5
学会発表	5	9	14
そ の 他	9	3	12
計	17	16	33

2) 学外からの研究費、研究補助金などの受け入れ状況

(1) 科学研究費

研究分担者	研究課題	助成元（審査区分）
後藤 雪絵 (研究代表者： 関 いずみ)	漁村女性の高齢者支援の実態と漁村の共助システムのあり方に関する研究	平成 23 年度科学研究費 助成事業(挑戦的萌芽研究)

2 研究業績

1) 著書

田中 由紀子、川井太 加子（監修・執筆）、大島 千帆、佐々木 由恵、寫末 憲子、鈴木 陽子、関口 久美子、道関 京子、中津川 かおり（執筆）、影山 敦司、清水 弘恵、萩原 明子（編修）：生活支援技術、第 2 編 自立に向けた生活支援技術、第 6 章 入浴・清潔保持の介護、p. 98-107、第 7 章 排せつの介護、p. 108-121、実教出版、2014. 1

近藤 卓、中村 美砂緒、望月 美佐子、山田 由美子、弓田 千春、関崎 純也、青木 亜里、菊田 文夫、刈田 明子、弓山 達也、花岡 陽子、小林 由香、齊藤 知明、今村 修、小貫 大輔、後藤 雪絵、副島 賢和、としおちゃん、萩生田 千津子、米田 朝香、松原 芽衣、アルフォンス・デーケン、九鬼種乃：基本的自尊感情を育てるいのちの教育—共有体験を軸にした理論と実践—、第 4 章新しい授業テーマを創り出すためのヒント p. 139-145、金子書房、2014. 3

2) 学術論文

栗田 太作、寺尾 保、瀧澤 俊也、沓澤 智子、灰田 宗孝、八木原 晋、両角 速：低酸素運動における前頭部多チャンネルNMIRSと前額部パルスオキシメーターの同時測定を試み—NIRS信号の拍動成分の意味—、東海大学スポーツ医科学雑誌25、p. 79-82、2013

Akira T. Kawaguchi、Munetaka Haida、Hiroyuki Ohhba、Mariko Yamano、Dai Fukumoto and Hideo Tsukada : Liposome-Encapsulated Hemoglobin Ameliorates Ischemic Stroke in Nonhuman Primates : Longitudinal Observation、Artificial Organs 37(10)、p.904-912、2013

吉田 礼子 : デンマークおよび日本の看護教育の比較—学士課程教育を中心として—、東海大学短期大学紀要、47、p. 55-64、2014. 3

後藤 雪絵 : 道徳副読本「こころのノート」が伝えるいのちのあり方—改正臓器移植法の死を考える可能性の検討—、東海大学短期大学紀要、47、p. 89-94、2014. 3

後藤 雪絵 : 認知症高齢者を支える漁村女性の活動—長寿社会の介護保険サービスの活用事例—、月刊 漁業と漁協、No. 604、p. 4-9、2013. 6

3) 学会発表

吉田 礼子 : 看護学生の「看護をする力」を形成する体験、第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集、p. 405、2013. 12

小川 景子、照川 眞木 : 横浜市十全医院における看護婦の養成、日本看護歴史学会、第 27 回学術集会講演集、p. 39-40、2013. 8

小川 景子、望月 好子 : 母性看護学教科書における「倫理」の記載状況、第 54 回 日本母性衛生学会総会 学術集会抄録集、p. 304、2013. 10

川原 由佳里、湯本 敦子、鏈溝 和子、田中 幸子、小川 景子 : 日本の母子保健行政の歴史 (第一報) —妊産婦及び乳幼児の保健指導の変遷に焦点を当てて—、第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集、p. 495、2013. 12

湯本 敦子、鏈溝 和子、田中 幸子、小川 景子、川原 由佳里 : 日本の母子保健行政の歴史 (第二報) —戦後、A 県の保健婦による母子保健活動および母子衛生研究会の活動—、第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集、p. 495、2013. 12

鏈溝 和子、田中 幸子、小川 景子、川原 由佳里、湯本 敦子 : 日本の母子保健行政の歴史 (第三報) —地域組織活動の変遷に焦点を当てて—、第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集、p. 496、2013. 12

田中 幸子、小川 景子、川原 由佳里、湯本 敦子、鏈溝 和子 : 日本の母子保健行政の歴史 (第四報) —優生保護法の立法過程に焦点を当てて—、第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集、p. 496、2013. 12

小川 景子、川原 由佳里、湯本 敦子、鏈溝 和子、田中 幸子 : 日本の母子保健行政の歴史 (第五報) —家族計画運動を促進させた取り組みに焦点をあてて—、第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集、p. 497、2013. 12

澁田 明子 : 子どもの看取り経験の積み重ねによる看護師の思いの変化とその影響要因、東海大学看護研究会第 3 回学術集会、2013. 7. 7

吉野 由美子：精神看護学実習における教員の指導のあり方（その2）－集団レクリエーションを学習成立に導く学習環境－、日本看護科学学会、第33回、2013.11

千葉 美果、蔵本 文乃、秋元 とし子、林 真理子：基礎看護学実習時の血圧測定に対する対処方法－戸惑いへの対処方法に焦点を当てて、第33回日本看護科学学会学術集会講演集、p.454、2013.12

蔵本 文乃、千葉 美果、秋元 とし子、林 真理子：基礎看護学実習時の血圧測定の指導方法の検討－学生の戸惑いの場面に焦点を当てて、第33回日本看護科学学会学術集会講演集、p.454、2013.12.7

岩屋 裕美：看護技術習得における自己調整学習方略尺度開発の試み－首都圏の看護短期大学および専門学校の学生を対象とした調査より－、日本応用心理学会第80回記念大会発表論文集、p.97、2013.9

坂本 優子：脳卒中後遺症のある在宅高齢者に対するフットケアの効果、日本フットケア学会、第12回年次学術集会抄録集、p.107、2014.3

4) その他

(1) 講演・シンポジウム、学会発表（抄録なし）

中田 芳子：「接遇」研修、医療法人湘南健友会 長岡病院、2013.7.9

中田 芳子：在宅看護論実習における実習指導について、神奈川県看護協会おおいそ訪問看護ステーション、2013.9.10

中田 芳子：東海看護研究会第3回学術集会シンポジウム シンポジスト、2013.7.7

新村 直子、阪野 有紀、園川 雄二、松本 修一、泉谷 洋美：クリティカル領域の看護師への家族看護の教育とその課題、日本家族看護学会第20回学術集会、2013.9.1

湊田 明子：第15回日本いのちの教育学会 指定討論者、2014.3.16

飯室 淳子：「与えよう！脳への良い刺激！！あなたも生き生き脳活性」東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設「公開講座」実践編 ミニ講義と体験、講師、2013.10

C. TAKEKUMA, I. TOKUNAGA, H. ARAO, K. NAKAMURA, K. FUNAKOSI, A. KURAMOTO : Creating a choice for elders who need primary nursing care, to live and die at “HOME LIKE” environment :”HOME and HOSPICE”、ICN 学術集会、2013.5

(2) 文筆活動

灰田 宗孝：看護師のための脳機能測定法、東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集、23、総説、p.25-37、2014.3

吉田 礼子:看護基礎教育卒業時に求められる看護実践能力—省庁等の報告書に記述された看護実践能力の概括—、東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集、23、総説、p. 25-37、2014. 3

中田 芳子 (責任監修) 吉田 礼子、泉 義雄、久保 典子、蔵本 文乃、千葉 美果、端山 淳子、新村 直子、丹澤 洋子、阿部 ケエ子、坂本 優子、鈴木 陽子、飯室 淳子、後藤 雪絵、湊田 明子、橘田 節子、望月 好子、小川 景子、吉野 由美子 (監修) : 看護師国試頻出過去問徹底攻略 '14 年版、成美堂出版、2013. 8

中田 芳子 : 建学の精神を受け継ぐ東海大学医療技術短期大学の使命、東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集、23、その他、p. 39-45、2014. 3

端山 淳子 : 日本の看護分野における食物アレルギー研究の現状と課題、東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集、23、総説、p. 11-23、2014. 3